

令和7年度 学校経営方針

八戸市立根岸小学校

1 経営の基本方針

日本国憲法、教育基本法、学校教育法の精神に基づき、青森県・八戸市の学校教育指導の方針・重点、児童の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態、保護者の願いを十分考慮して、適切な教育課程を編成し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成を目指す。進めるにあたっては、常によりよいものをめざして、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開し、児童・保護者・地域・教職員が信頼で結ばれた環境の中で、児童一人一人に生きる力を育む。

- ① 児童一人一人が、わかった・できた・身についた、を実感したり、友だちと活動する楽しさを味わえたりするように、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通じて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や創意工夫を生かした授業づくりが展開できる教育課程の編成・実施。
- ② 児童一人一人が、いのちの教育を基底に、成長や変容を実感し、自尊感情や自己有用感を高めたり、多様な他者を価値ある存在として尊重し、よりよい人間関係を構築したりできるように、学級経営を基盤に様々な教育活動の中で、居場所づくり・絆づくりが展開できる教育課程の編成・実施。
- ③ 児童一人一人が、安心して生き生きとした教育活動が展開されるように、開かれた学校づくりを一層推進し、家庭・地域・学校が信頼で結ばれ、連携・協働できる教育課程の編成・実施。
- ④ 児童一人一人が、充実した教育活動を享受できるように、PDCAのマネジメントサイクルをきめ細かく機能させ、教職員一人一人の持ち味や協働した組織力を生かせる教育課程の編成・実施。

2 教育目標

『かしこく やさしく たくましく』

かしこく…身に付けた力を自分のために他者のためにによりよく判断し活用できる
やさしく…自分も他者も大切にし自分のために他者のために協働できる
たくましく…健康な体づくりに根気強く取り組むことができる

3 努力目標【めざす児童像】

- めあてをもって学ぶ子
- 相手のことを思いやる子
- じょうぶな体をつくる子

4 めざす学校像

全ての人の人権が尊重され、教職員・保護者・地域住民が連携・協働する中で
○児童にとって 居場所のある笑顔いっぱいの学校
○保護者・地域の人々にとって 安心して共に育てようと思える学校
○教職員にとって やりがいのある学校

5 めざす教師像

- 子ども一人一人に寄り添い伸ばす教師
- 子ども、保護者、地域、同僚から信頼される教師
- 常により良いものを求める教師

6 経営の重点事項

(1) 「めあてをもって学ぶ子」の育成

①校内研究の日常化による指導の工夫

- 具体的な施策
 - ・相手意識や目的意識をもたせた聴く・話す活動
- ・取組の工夫
 - ・個に応じた、言葉で表現できる力の育成

②基礎的・基本的な知識・技能の定着、学習に向かう力(主体的な粘り強さ)の育成

- 具体的な施策
 - ・朝の活動を活用した基礎的・基本的な知識・技能の定着
- ・取組の工夫
 - ・読書活動の充実
 - ・1人1台端末の活用した授業づくり(ドリル学習やレディネスチェックの活用)
 - ・ねぎしっ子スタンダードを活用した基礎的な学習規律の定着
 - ・パワーアップ週間の実施

(2) 「相手のことを思いやる子」の育成

①子どもの命を最優先に、子どもの居場所づくり絆づくりを意識した指導の充実

- 具体的な施策
 - ・「自分の命は自分で守る」意識を高め、実践につながる訓練の実施や
- ・取組の工夫
 - 防災ノートの活用
 - ・相談カード・学校生活アンケート・教育相談習慣を活用した児童の状況把握やスクールカウンセラーとの連携
 - ・帰りの会などで、自他のよさやがんばりを伝え合う時間の確保
 - ・キャリア・パスポート等を活用した自己の成長を振り返る指導の工夫

②日常生活における、相手を意識した道徳的実践力の向上

- 具体的な施策
 - ・行事や学級の実態等に応じた価値項目を精選した道徳科の授業の充実
- ・取組の工夫
 - ・話し合い活動による合意形成や意思決定を通した主体的に行動できる心の育成
 - ・生活目標を意識した取組と振り返りの充実(挨拶・返事・言葉遣い)

③規範意識を高め、正しい善悪の判断のもとで行動できる指導の工夫

- 具体的な施策
 - ・全校集会や週末の昼の放送を活用した、公共のルールやマナーを守る意識づけ
- ・取組の工夫
 - ・情報モラルをテーマにした話し合い活動の実施

(3) 「じょうぶな体をつくる子」の育成

①たくましく育つための体づくりの推進

- 具体的な施策
 - ・教科体育における楽しみながら多様な運動をする場の工夫
- ・取組の工夫
 - (授業開始5分間の全学年共通の折り返し運動の実施)
 - ・朝の活動を活用した、多様な運動をする場の充実

②健康な生活を送るための意識の向上

- 具体的な施策
 - ・健康に過ごす能力を育成するための「すこやかタイム」の活用
- ・取組の工夫
 - ・治療率向上のための働きかけの工夫
 - ・外部講師や掲示物を活用した食育指導の実施

※重点事項を支える施策

①開かれた学校(信頼される学校)づくりの推進

- J S、幼保こ小連携をはじめ家庭等との連携を図った基本的生活習慣、学習習慣の確立
- 地域密着型教育(コミュニティ・スクール推進事業)を通した、学校・家庭・地域社会との信頼関係、緊密な連携・協働体制の構築

②PDCAのマネジメントサイクルが機能する教育活動の推進

- ～年間を通した大きなPDCAのマネジメントサイクルの中での小さなCAを大切にしながら、常によりよいものを目指す取組～
- 「チーム根岸」として協働する学校運営
- 細やかな教育課程の実施・管理及び評価・改善(実施後、月ごと、学期ごと、年度末)